

前回の協議会 → 「キーワードやエッセンスの抽出」

協議会参加者の様々な視点による堺都心部を走る
「SMI都心ライン」ならではのキーワードやエッセンスを抽出

【事務局】

・キーワードなどをもとに「意匠コンセプト（案）」を作成

本日 2/2

第3回協議会 → 「意匠コンセプト（案）」の提示 ・ 「意匠コンセプト（案）」の意見聴取

【事務局】

・「意匠コンセプト（案）」への意見をもとにイメージの具体化の作業を実施
（デザイン委託）
・「意匠イメージ（案）」を作成

3月以降

第4回協議会 → 「意匠イメージ（案）」の提示 → 「意匠イメージ（案）」の意見聴取

【第4回協議会以降（予定）】

- 現時点では導入する大型電動車両の機種が決まっていないため、協議会での意見をもとに意匠イメージ（案）の方向性を定める。
- 最終決定については、市民の意見を聞き、市と事業者でデザインを決定。

「SMI都心ラインの方向性による意匠の視点」と前回の協議会で頂いた「キーワード」を組み合わせ、都心部を走る次代の都市交通であるART車両、ステーションの意匠にふさわしいコンセプトとする。

SMI都心ラインの
方向性による意匠の視点



キーワード



意匠コンセプト (案)



①「すべての人にとって利用しやすい」
⇒ バリアフリー、わかりやすさに配慮した意匠

②「居心地がよい」「快適」「憩う」「交流」
⇒ 居心地がよく滞留したくなる意匠

③「未来を見据えて常に挑戦」、「脱炭素を先導」
⇒ 堺らしさを表現 (先進性、挑戦)

④「魅力的な地域資源」
⇒ 堺らしさを表現 (類いまれな歴史・文化)

- 茶道 ○ 古墳 ○ 神社、祭り
- 自転車の街 ○ アトラクション要素
- 体験型観光 ○ 千利休 ○ 抹茶
- 紺碧 ○ 祭り、ふとん太鼓
- 歴史、祭りなど複数連想させる
- 他の交通との関連性のある意匠
- 交通ネットワークとしてわかりやすい
- 堺全体に波及 ○ 歴史
- 未来 ○ 黄金 (既存車両)
- 侘び寂び

○ 車両ラッピングのデザイン要素

・線



・色



・模様・質感



ART車両、ARTステーションなどの意匠コンセプト案①

SMI都心ラインの方向性による意匠の視点	必須の視点		重要視する視点			
	①バリアフリー、わかりやすさに配慮した意匠	②居心地がよく滞留したくなる意匠	③堺らしさを表現（先進性、挑戦）	④堺らしさを表現（類いまれな歴史・文化）		
前回協議会におけるキーワード（分類毎）	堺の歴史・文化	千利休	新しい移動の提案	都心の未来を展開	堺の色彩	個性的な存在感
	古墳	祭り	アトラクション要素	他交通との関連性	紺碧	わかりやすい
	わびさび	自転車	体験型	未来軸	黄金	
	刃物	ミュシャ		全体に波及		
	茶道	ふとん太鼓				

意匠コンセプト【案】① 『堺都心部の未来』

【イメージ例】

- 車両のエクステリアは堺都心部の未来を創り出すテクノロジー感をイメージ
- 一方、車両のインテリアは堺の歴史・文化を表現し、市民・来訪者に乗ってみたいと思わせる内装を検討
- 「内（堺の歴史・文化）」から「外（堺の未来）」へ、また「堺都心部の風景」へつながっていく意匠を検討

【デザイン要素 例】

- 線：直線、細い線、幾何学的
- 色：紺碧  or 黄金  などを採用（メイン、アクセントなど）
- 模様・質感：メタリックなど質感が高く感じられるもの

ART車両、ARTステーションなどの意匠コンセプト案②

SMI都心ラインの方向性による意匠の視点	必須の視点		重要視する視点		
	①バリアフリー、わかりやすさに配慮した意匠	②居心地がよく滞留したくなる意匠	④堺らしさを表現(類いまれな歴史・文化)		
前回協議会におけるキーワード(分類毎)	堺の歴史・文化	千利休	新しい移動の提案	堺の色彩	個性的な存在感
	古墳	祭り	アトラクション要素	黄金	わかりやすい
	わびさび	自転車	体験型	抹茶	
	刃物	ミュシャ			
	茶道	ふとん太鼓			

意匠コンセプト【案】② 『類いまれな歴史・文化の変遷』

【イメージ例】

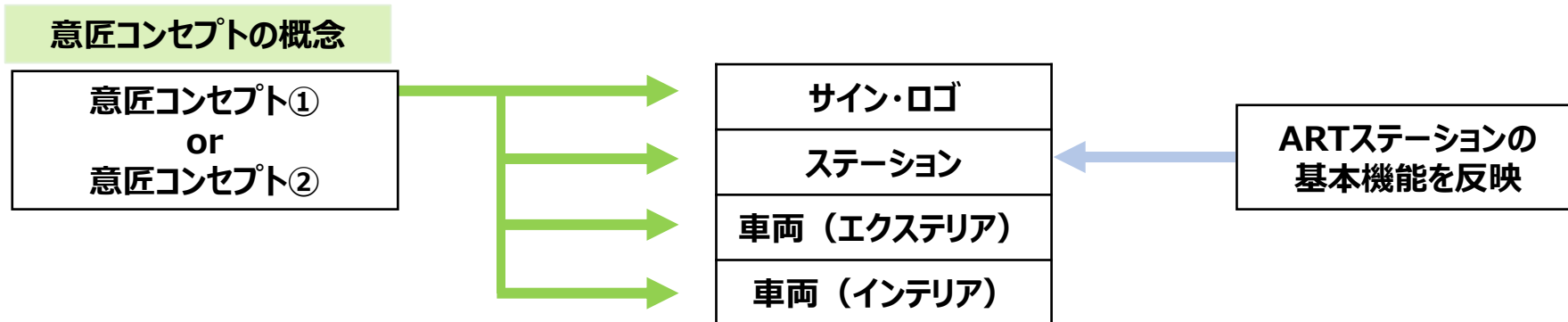
- 車両のエクステリアは類いまれな堺の歴史・文化の過去・現代・未来への変遷をイメージ
- 車両のインテリア堺の歴史・文化を感じ楽しみながら移動できる内装を検討

【デザイン要素 例】

- 線：曲線、太い線
- 色：黄金  or 抹茶  などを含め、様々な歴史文化にちなんだ多色配色を採用
- 模様・質感：グラデーション、パターン柄など

意匠コンセプトの意匠イメージへの反映について

意匠コンセプトに基づき、統一的な意匠を施し、明示性を高め、利用しやすくするほか、都心部の魅力向上につなげる。



【参考】SMI都心ライン等のコンセプトを基にしたARTステーション（乗降場所）の基本機能（第2回協議会資料より）

①ウォーカブルで居心地が良い魅力的な都市空間の形成

上屋・ベンチ	○待合時に風雨や直射日光を防ぐ屋根・パネルの配置
パークレット	○道路空間を活用し、憩い・集う場としてベンチやテーブルを配置し魅力的な空間を創出

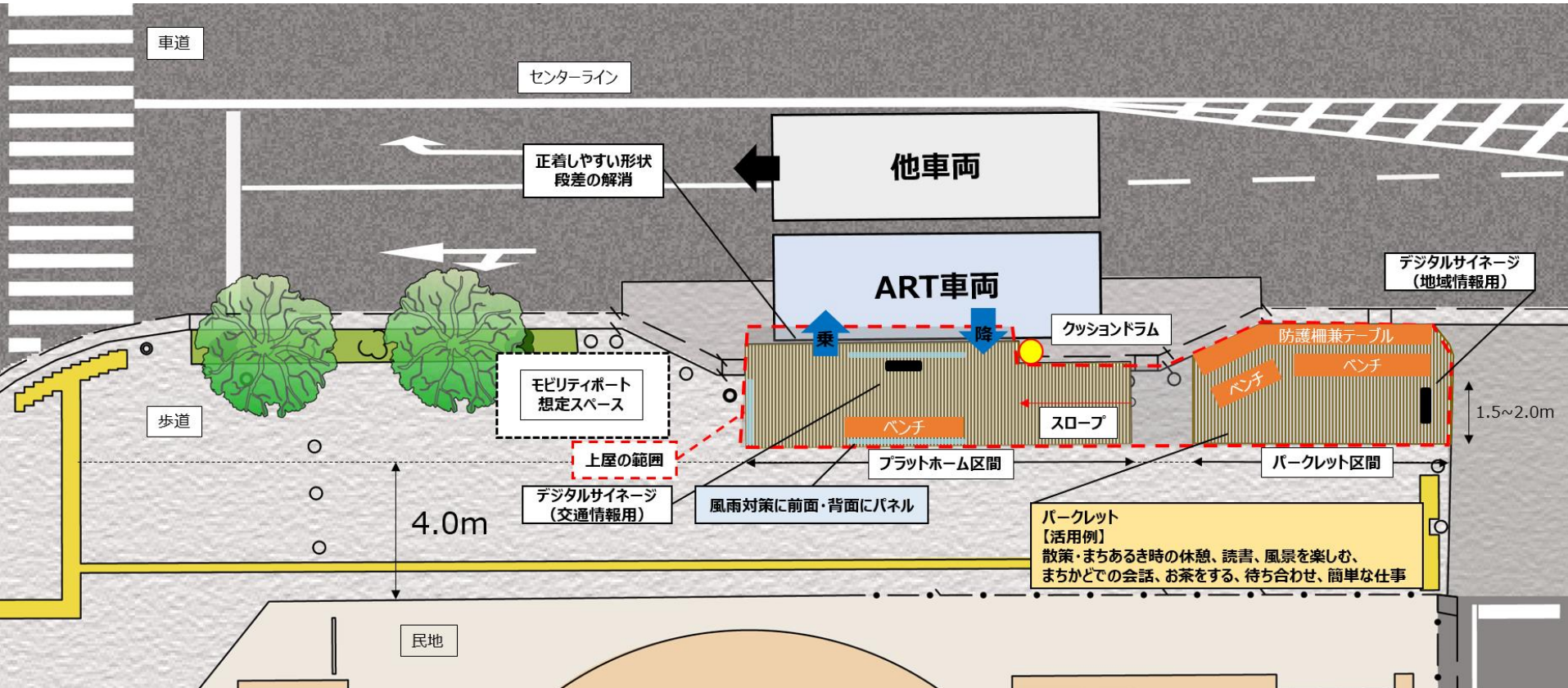
②バリアフリーな都市空間の形成

プラットフォーム	正着制御可能	○正着しやすい平面形状 ○基本的には車両と同程度の長さ
	乗降口との段差解消	○車両の床高さと合わせる
	必要な幅員の確保	○1.5m以上とし、歩道の幅員も確保
次世代モビリティポート		○次世代モビリティポートのスペース確保

③生活利便性や回遊性を高める情報・サービス連携

デジタルサイネージ	○交通や地域に関する情報を表示 ○スマートフォンへの持ち出しが可能
-----------	-----------------------------------

平面イメージ



今後の詳細設計における検討項目

- ・道路（歩道・車道）の安全性の確保
- ・プラットフォームの安全性の確保（手すり、案内表示など）
- ・バリアフリーへの対応
- ・テラス・プラットフォーム形状（自動運転事業者や交通事業者との協議や、警察や道路管理者との協議、停留所毎に異なる道路幅員などを考慮）
- ・デジタルサイネージの表示内容
- ・基本機能以外に必要なSMI都心ラインに資するもの